

先月20日のプロ野球ドラフト会議で中日から育成1位指名を受けた八学大投手の松山晋也（22）が11日、同大で球団からの指名あいさつを受けた。松山は「（プロ入りの）実感が湧いてきた。まずは支配下登録の選手になれるように、一から練習に取り組み」と意気込みを語った。

松山は七戸町出身、町立旧天間箱中一八学野西高卒。身長188センチの長身から投げ下ろす最速154キロの直球とフォークが持ち味で、本年度の北東北大学リーグでは主に抑えとして活躍した。

11日は中日の松永幸男スカウト部長、八木智哉スカウトが同大を訪れ、松山や同大硬式野球部の正村公弘監督らと懇談。八木スカウトは松山に対し、「投げるポイントが高い上に、フォークがよく落ちる。引き出しを増やして全体的なレベルを上げていけば、1

軍で活躍する選手になれる」と太鼓判を押した。松山は今月中に仮契約を結び、12月の入団発表に臨む。当面は大学で練習を続けてプロ入りに備える予定

（上村公徳）

中日育成1位、指名あいさつ 松山（八学）「長く活躍したい」



中日の八木智哉スカウト（左）から指名あいさつを受けた八学大の松山晋也＝八学大